



「教育法」の意図するもの
本年度から施行される教育法は、戦後教育の根本法として、戦前教育法に代わって、戦後教育の根本法として、戦前教育法に代わって、戦後教育の根本法として...

Table with 4 columns: 区分 (Division), 専攻科目 (Specialized Subjects), 教員数 (Number of Teachers), 学生数 (Number of Students). Rows include 小学校 (Elementary School), 中学校 (Middle School), 高等学校 (High School).

教育の反動化と
家永訴訟の意義
教育の反動化とは、戦後教育の根本法として、戦前教育法に代わって、戦後教育の根本法として...

教育におけるナショナリズムの攻勢
経済圏獲得へ挙国一致

ナショナリズムの攻勢
戦後教育の根本法として、戦前教育法に代わって、戦後教育の根本法として...

観光学科長に賀来教授
賀来教授は、戦後教育の根本法として、戦前教育法に代わって、戦後教育の根本法として...

一次防から三次防へ
帝国主義軍隊の復活

一次防から三次防へ
帝国主義軍隊の復活
戦後教育の根本法として、戦前教育法に代わって、戦後教育の根本法として...

新刊紹介
『新刊』
『新刊』
『新刊』

新入部員募集
定期購読者募集中
資格・制限なし
いずれも部室まで

外国語学習には定評ある三省堂版を!

三省堂辞書広告
ヨサイス独和辞典
ヨサイス和独辞典
ヨサイス露和辞典
ヨサイス仏和辞典
ヨサイス露和辞典
ヨサイス和露辞典
ヨサイス和露辞典
ヨサイス和露辞典
ヨサイス和露辞典

昭和41年度

卒論テーマ

史学科つづき

西村 康志 石炭産業合理化のもとにおける筑豊炭田地城の変遷と生活実態

山崎 隆夫 A Study of "The Scarlet Letter". The Style of Hemingway in "A Farewell to Arms"

社会学科

厚生福祉課程 余暇から見た日本人の生活態度

新聞日報課程 テレビによる大衆娯楽の隆盛とその問題点

日本文学科

阿部 玲子 夏目漱石論「心」から「明暗」まで

木岡 ナナ子 マス・コムによるファイバーの権利侵害

フランス文学科

福井 朝子 アラスカと芸術—原野的思考のため

山崎 隆夫 夏目漱石論「心」から「明暗」まで

ドイツ文学科

林 久子 トーマス・マンの「マリオと魔術師」における手法

山崎 隆夫 夏目漱石論「心」から「明暗」まで

英文学科

秋山 雅子 「マクベス」研究

山崎 隆夫 夏目漱石論「心」から「明暗」まで

経済学部つづき 山本 三九郎 「再生産」

文学部つづき 山本 三九郎 「再生産」

産業関係学科 山本 三九郎 「再生産」

現代資本主義の経済法則 山本 三九郎 「再生産」

青木書店 民法講義 物権・担保物権 現代政治とイデオロギー マルクス主義と疎外 価値論研究 恐慌論研究 貨幣論研究 重商主義植民地地体論

キリスト教学科

加藤 純子 幼託に対するキリスト教育の一考察一親
柴田 深香子 人間的な回復の可能性一キリスト教育
宇山 忠男 プランナーにおける啓示と理性

心理学科

青山 陽次郎 心理検査と人事課選の関係について
秋山 栄子 家族機能に関する心理学的研究一色・形
秋山 栄子 交通行動とことばとの関係を中心として一
藤井 隆子 権威主義的作威及び安当性の検証

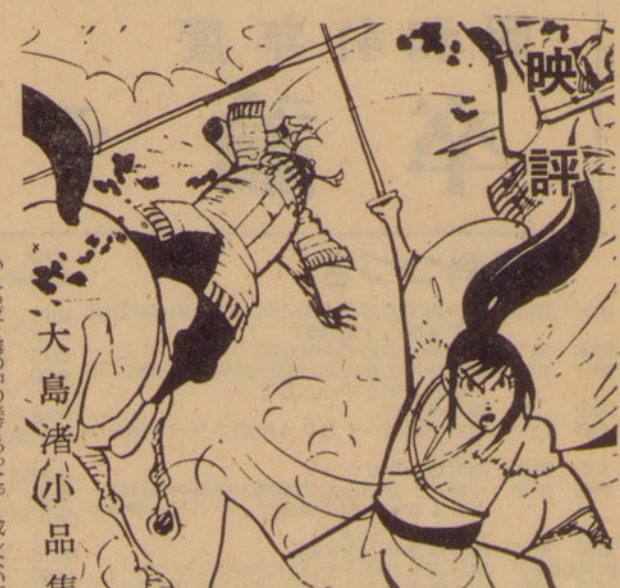
教育学科

安藤 正子 価値観とその適用性における一研究一女子
崎崎 鉄磨 高校生の個人生活について一考察一
幸田 保代 寺小教育に関する一研究一

史学科

青山 剛征 住宅地と大都市の関係についての若干の
考察一東京周辺における日本住宅地公園団地

大澤洋三平の考察
「忍者武芸帳」
なぜなら.....
大澤洋三平の考察
「忍者武芸帳」
なぜなら.....



大澤洋三平の考察
「忍者武芸帳」
なぜなら.....

幻想の中に真実を

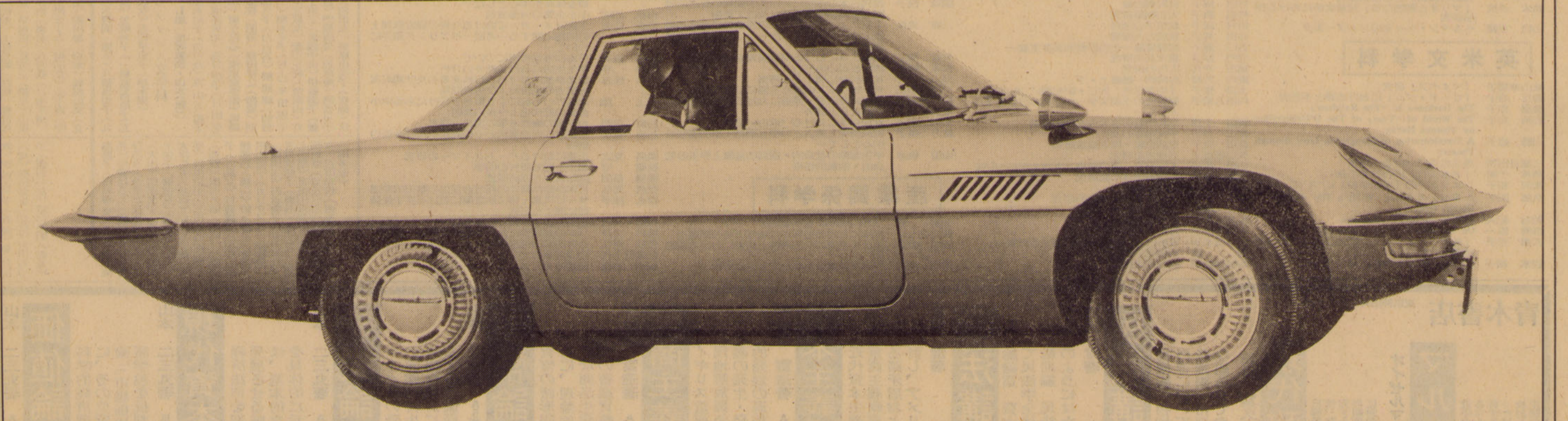
「日本春歌考」

大澤洋三平の考察
「日本春歌考」
大澤洋三平の考察
「日本春歌考」

新入生への提言

大学に於て如何に
人間として生るべきか
簡井正義(物理II)

Advertisement for 'Piriyado' (ピリヤード) featuring a map and contact information for 'Heiwa' (平和).



東洋工業<マツダ>の企業力に いま世界が注目しています

東洋工業の歴史は、まもなく半世紀をむかえようとしております。創業以来、すでに生産台数220万台を突破し、特に商業車においては、フォード、モーター、フォードなど世界一流メーカーの中で第5位の生産台数を誇っております。ここに東洋工業のすぐれた技術と78社のメイン・ディーラーによる世界3000におよぶマツダ・ディーラーグループの意欲的な活躍があることは申すまでもありません。このように、つねにわが国モーターショー推進の主導的役割をはたしてきた東洋工業・マツダグループは、いまアメリカ、ヨーロッパに続いて、日本に於けるモーターショーに新風を吹きこもうとしております。
世界と期待をあつめて開発された「夢」のエンジンといわれるロータリーエンジン搭載の「マツダコスモスポーツ」を発売します。これこそ、技術革新のマツダを象徴するものであり、わが国自動車産業のリーダー・オブ・マンを語るにふさわしい成果といえます。
東洋工業が、西独NSU社、パンケル社と協力して開発したロータリーエンジンは、従来のエンジンよりはるかにコンパクトでありながら驚異的高性能を持っています。東洋工業は、さらにこのロータリーエンジンを量産車に搭載すべく、いかなる研究も惜まれません。
いまや、わが国の代表的総合自動車メーカーとして、みなさん、メーファート・エスにもランクされつねに自動車産業の革新企業として世界が注目する企業へ成長してまいりました。
東洋工業は、一方の核となる「マツダディーラーグループ」とともに、わが国モーターショーの大きな期待をなすべく、今後も限りなく躍進への努力を続けてまいります。